

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和5年度

事業所名 放課後等デイサービス いちごいちえ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	
	2	職員の配置数は適切である	2	3	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	4	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	0	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断している	5	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っている	5	0	0	
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議にその子どもの状況に精通した最 もふさわしい者が参画している	5	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等) 、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生 時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ 移行する場合、それまでの支援内容等 の情報を提供する等している	3	2	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支 援センター等の専門機関と連携し、助言 や研修を受けている	0	5	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会が ある	2	3	0	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参 加している	1	4	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	5	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	2	3	0	
保 護者へ の説 明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	5	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っている	5	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	1	4	0	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや保 護者に周知し、苦情があった場合に迅速 かつ適切に対応している	5	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	0	4	1	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	0	
非常 時等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や 保護者に周知している	5	0	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を 行うかについて、組織的に決定し、子ども や保護者に事前に十分に説明し了解を 得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載している	5	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	5	0	0	